No.123

いけだ

議会だより

令和元年7月24日発行

子どもの歌声は地域の力

町公民館最後のてるてる坊主童謡まつり

新しい議会議員体制スタート

議会新体制・委員会構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
6 月定例会の目玉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
予算・議案・陳情審議 ・・・・・・・・・・・・・・・・P4～P8
あなたの声を町政に（一般質問） ・・・・・ P9～P15
町民の皆さんに聞く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

池田町議会だより
ホームページ

新しい議会議員体制スタート

5月10日、選挙後初の臨時議会で、正副議長と
2つの常任委員会、議会運営委員会などのメンバーが決まりました。

議長あいさつ

倉科　栄司

全国的な議員のなり手不足（特に町村議会）が叫ばれて久しいです。今回の統一地方選挙でも、この問題は解消されませんでした。池田町でも定員割れにはならなかったものの、前回に引き続いての無投票という結果になりました。

今任期の早い時期に、議員のなり手不足解消に向けた取り組みのための環境整備（議員定数・報酬等の見直しも含め）を図る考えであります。

町民のみなさまのご意見も広くお聴きしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

副議長あいさつ

矢口　新平

新議長の補佐として2年間頑張ります。議員間のコミュニケーションと役場職員との仲介役、また町民の代表として、町の発展のため、走り続けようと思います。問題点を私にぶつけていただければ、町政に反映させていきます。よろしくお願いいたします。

総務福祉委員会

委員長　矢口　稔
副委員長　横澤　はま
委　員　中山　眞
服部　久子
那須　博天
倉科　栄司

振興文教委員会

委員長　大出　美晴
副委員長　大厩　美秋
委　員　松野　亮子
矢口　新平
和澤　忠志
薄井　孝彦

議会運営委員会

委員長　那須　博天
副委員長　薄井　孝彦
矢口　稔
大出　美晴
和澤　忠志

監査委員（議会選出）

和澤　忠志

その他議会構成

予算決算特別委員会

（全議員）
委員長　那須　博天
副委員長　薄井　孝彦

議会報編集特別委員会

委員長　矢口　稔
副委員長　中山　眞
委　員　松野　亮子
大出　美晴
服部　久子
那須　博天

北アルプス広域連合議会

矢口　稔
服部　久子
倉科　栄司

池田松川施設組合議会

矢口　稔
矢口　新平
大出　美晴
倉科　栄司

令和元年度一般会計補正予算

幼児教育無償化に向けたシステム改修とブロック塀撤去補助などに8598万円を可決

●6月定例会の概要

6月定例会は、6月10日から21日まで開かれ、承認8件、議案5件、同意2件、発議1件を審議しすべて可決した。陳情4件のうち2件を趣旨採択し、2件を不採択とした。（金額は四捨五入）

主な目玉事業

プレミアム付商品券事業

5327万円

消費税10%引き上げが低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和するため。

〈購入対象者〉

住民税非課税者、2016年4月2日～2019年9月30日の間に生まれた子供がいる世帯主

【財源】

国庫支出金　1339万円
プレミアム付商品券販売収入　4000万円
（町）一般財源　△12万円

2017年プレミアム付商品券

幼児教育無償化事業

466万円

10月から3歳～5歳は全世帯、0歳～2歳は住民税非課税世帯の保育料を無償化するためのシステム改修費

【財源】

（国）幼児教育無償化補助金　466万円

すくすく育つ池田っ子

骨髄等提供支援事業

30万円

骨髄提供者と提供者を雇用している事業者への補助
提供者に1日2万円、上限10日
事業所に1日1万円、上限10日

【財源】

（県）骨髄バンクドナー助成事業補助金　15万円
（町）一般財源　15万円

ブロック塀等撤去事業

106万円

地震などにより倒壊の危険があるブロック塀の撤去費用の補助
補助額　工事費の2分の1、上限10万円　交付条件あり

【財源】

（国）住宅・建築物安全ストック形成事業補助金　50万円
（町）一般財源　56万円

ヒビが入ったブロック塀

6月議会定例会

しっかりチェック！ 予算審査 質疑

**改選後、初めての予算決算特別委員会で補正予算を審議した。
予算額は約8600万円増加し、約51億8900万円となった。
最終日の本会議において、全会一致で原案可決した。**

町づくり・防災

問 花とハーブで町を彩る事業の促進と、薬効ハーブの普及促進事業について県の補助金は得られなかったのか。

答 当初見込んだ補助金より減ったが、採択になった。花とハーブの講座は行う。

防災用エコバック配布へ

問 町の単独事業となった災害時避難済み表示取り組み事業で、イエローカードに代わるエコマイバックはどのタイミングで配布される見込みか。

答 町の総合防災訓練の８月25日に使用できるように間に合わせたい。

内側

外側

避難済みカードに代わる「エコマイバック」
自主防災会を通じて配布されます

健康福祉

プレミアム付商品券発行

問 プレミアム付商品券事業は、住民税非課税者と２０１６年から２０１９年に生まれた子どもが属する世帯、約２千人を対象としている。この事業は今回だけなのか。

答 消費税が10月から上がることによるもので、その後のことについて国からの情報は入っていない。

問 生活保護者は対象外としているが、町として対象に入れる考えはないか。

答 消費税分を含んで算定された最低生活費が、生活扶助として支給される。町としては対象に入れる考えはない。

骨髄ドナーへ補助金

問 骨髄等提供者支援事業助成金で、１人の提供者で予算オーバーすることはないという解釈でよいか。

答 その方の容態や治療で変わってくる。県でも人数や予算を詰めていく。今のところ答えができない。

一口メモ　骨髄バンクドナー助成事業補助金

現在、骨髄や末梢血幹細胞の移植を希望する患者の約95％に適合するドナー登録者が見つかります。しかし、都合がつかない等の理由により、実際に移植を受けることができる患者は約55％に留まります。

池田町では、ドナーの負担を軽減することで、骨髄等の適切な提供が推進されるよう、ドナーとドナーが勤務する事業所に対する補助制度を開始します。

【ドナー登録ができる方】
・骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
・年齢が18歳以上、54歳以下で健康な方
・体重が男性45kg以上／女性40kg以上の方

詳しくは、町健康福祉課61－5000まで。

一人でも多くの患者さんにチャンスが届くよう、ドナー登録にご協力をお願いいたします。

産業振興・観光・道路

国有地の管理が町に

問 **国有農地草刈業務委託料において面積は。**

答 国有農地は2千500㎡ほどあり、そのうち未貸付となっている650㎡弱が対象となっている。

ハーブを都市部へ売り込む

問 **花とハーブの里再ブランド化事業で、普通旅費で都市部への営業ということだが、予算20万円でできるのか。**

答 ハーバルヘルスツーリズムを展開していく中で、委託先の「さとゆめ」と協力しながら営業を行う。職員の旅費は対象外である。

ハーブ再ブランド化

農業の振興に補助金

問 **農業振興事業のなかで、トラクターやハウス等、具体的にどのような方が対象か。**

答 産地パワーアップ事業補助金については、ぶどう棚2件とコンバイン購入。農業用ハウス強靭化緊急対策事業補助金は、認定農業者が対象である。経営体育成支援事業補助金は、融資を活用することが条件で、残りの金額は農業用機械等に使う。

オーガニックタウンを目指して

問 **オーガニックといっても幅が広いが、具体的に目指していることは。**

答 円卓会議ではオーガニックに限らず、環境と農業を考えるとか、持続可能な社会と農業への関わり方をテーマに進めていく。

道路脇のブロック塀撤去補助金

問 **通学路の歩道に面してあるブロック塀は補助の対象になるのか。**

答 道路法に基づく道路もしくは、建築基準法による位置付けの道路であれば対象となる。

問 **ブロック塀鉄筋探査機の貸し出しは、すぐに借りられるのか。**

答 探査機は2台あり予約制となっている。貸出期間2日間である。

ブロック塀の鉄筋の有無がわかる探査機

教育・保育

10月から幼児教育が無償化

問 **幼児教育無償化事業が10月から始まるということで、保護者の方たちへの周知はどの様に行い、スケジュール等は。**

答 保護者の方への周知は、リーフレットのようなもので7月から8月くらいにお知らせしたい。

問 **3歳以下の幼児は無償化の対象になるのか。**

答 3歳未満児の子どもに関して、住民税非課税世帯の子どもは無償化になる。第3子以降の子どもも無償化となる。

給食費は有料

問 **給食費の負担については。**

答 今までは保育料に含まれていたが、国の方針により給食費はお支払いいただく。ただし年収360万円以下の低所得世帯は無償化となる。

問 **給食費の金額は。**

答 月額4千500円である。

議案審議と討論・陳情審議

（本会議質疑）高齢者向け事業が減少傾向

平成 30 年度一般会計補正予算

問　介護保険関連の費用が減額になっているが、現状は。

答　在宅介護給付金の減額は、該当者に 2 度電話や、通知によりお知らせしている上での減額である。介護保険全体ではサービスの内容が増えているのが現状である。

問　高齢者福祉事業について、老人クラブ費用の減額内容は。

答　会員数が減少している。老人クラブは 10 団体が活動している。

森林環境税の活用方法は

池田町森林環境譲与税基金条例の制定

（本会議質疑）

問　具体的な基金の使い道は。

答　山林の所有者及び市町村に適正な管理を義務付ける法律もこのたび制定された。管理の難しい山林について町が管理することになる。所有者の意向調査や、業者の仲介あっせん等に使用していく。

森林保全と松枯れ対策が急務

問　2024年度から課税予定の森林環境税は一人1,000円とのことだが、子どもや低所得者にも課税されるのか。

答　住民税非課税者には課税されない。

（振興文教委員会質疑）

問　この森林環境譲与税は3年後どうなっているのか。

答　森林環境譲与税が示された段階で、県では森林づくり県民税があり重複しない形の中で進める。今後の動向についてはまだ情報はない。

【審査結果】　委員会として全員賛成で可決。

（本会議　討論）

反対です　**服部久子議員**

この財源である森林環境税は低所得者からも徴収することになる。また、温室効果ガス排出企業にも負担を求めていないのも問題である。本来国の森林整備予算から支出するべきであり、反対である。

賛成です　**矢口　稔議員**

国の方向性がまだ定まっていない中での譲与税交付である。基金条例を制定しておかないと使途目的が明確にならない。また、里山の保全のみならず、子育て支援等への活用もできる幅広い譲与税である。よって賛成すべきと考える。

陳情審議

総務福祉委員会

○陳情5号および陳情6号

● 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について（全く同一の陳情）

【審査結果】　全会一致で趣旨採択。

○陳情7号

● 米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情

【審査結果】　全会一致で不採択

（本会議反対討論）

反対です　**薄井孝彦議員**

国家間の紛争は「武力の行使」によるものではなく、「話し合い」を通じて解決されなければならない。軍事基地は廃棄撤去しなければならないものと考える。以上のことから本陳情は不採択にすべきと考える。

○陳情8号

● 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

【審査結果】　賛成少数で不採択

米軍 普天間飛行場

一目でわかる!!

主な議案の説明と審査結果

○…賛成　●…反対

会議	区分	議案	審査結果	松野亮子	大厩美秋	中山　眞	横澤はま	矢口　稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	那須博天	倉科栄司
5月臨時会	同意	監査委員の選任につき同意を求めること　和澤忠志氏	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5月臨時会	議案	平成30年度（繰越）池田小学校空調設備設置工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5月臨時会	議案	平成30年度（繰越）会染小学校空調設備設置工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5月臨時会	議案	平成30年度（繰越）高瀬中学校空調設備設置工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5月臨時会	議案	令和元年度一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	税条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	平成30年度一般会計補正予算（第13号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
6月定例会	承認	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	平成30年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	承認	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	議案	町営バス設置条例の一部を改正する条例の制定（新規停留所を交流センター「かえで」前に設置する）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	議案	森林環境譲与税基金条例の制定（森林環境譲与税の財源を基金に積み立てる）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
6月定例会	議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定（選挙執行経費に関する法律の改正により、選挙長などの報酬の報酬改正及び学校活性化委員会を学びの郷活性化委員会に名称変更）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	議案	令和元年度一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	発議	食育推進特別委員会の設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	議案	令和元年度　社会資本整備総合交付金事業　町道251号線道路改良工事請負契約の締結（あづみ病院前の道路改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	同意	監査委員の選任につき同意を求めること　吉澤暢章氏	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	同意	固定資産評価員の選任につき同意を求めること　小田切隆氏	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	陳情	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	陳情	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6月定例会	陳情	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-
6月定例会	陳情	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	-

一口メモ
請願（陳情）の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと
表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)議長は表決に加わらない。

5月議会臨時会　（5月10日）

一般会計補正予算

旧上原商店跡地に企業誘致を人口増対策で跡地の有効活用

◎試料採取調査（深さ 50㎝の表土を採取）
◎ボーリング調査（10 地点で深度 2 mの地質調査）
　などの土壌調査費用　1458 万円

旧上原商店跡地　おひさまの家となり（一丁目）

3校空調設備契約締結

◎池田小学校空調設備設置工事請負契約
　落札価格　6996 万円
◎会染小学校空調設備設置工事請負契約
　落札価格　6380 万円
◎高瀬中学校空調設備設置工事請負契約
　落札価格　9460 万円

会染小学校校舎

新人議員紹介

松野（まつの）　亮子（りょうこ）（堀の内）

趣味
手芸　使い古しの布で衣服、布製品等繕う

無農薬、無施肥で野菜やハーブを家庭菜園
自給自足の生活を目指す

好きな言葉
すべての雲には銀の裏地がある

大厩（おおまや）　美秋（よしあき）（三丁目）

趣味
ドライブ　夫婦で旅行に行くのが楽しみ

長男家族が地元に戻り、二人の孫と遊ぶ楽しさや、ラーメンの食べ歩きがマイブーム

好きな言葉
当たって砕けろ

中山（なかやま）　眞（まこと）（坂下）

趣味
大学時代から続く読書、洋画鑑賞、カメラ等

定年退職して野菜作りで4年、悪戦苦闘し、ようやく実がなってきた。

好きな言葉
言葉を聞かずに意図を聴け

8議員が町政をただす！

ここが聞きたい
8人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

池田町は1人60分の制限時間内で質問します。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

質問者	質問事項
那須博天 議員	・カモミールが 10 月終了するが、町の対応はどのようにするのかについて ・会染西部地区ほ場整備で非農用地の方向性、又町の予算について ・町長、副町長の行事及び大会への参加基準について
横澤はま 議員	・第 6 次総合計画「平和な未来のまちづくり」について ・命を守る防災推進策について ・池田町食育条例制定について
服部久子 議員	・総合教育会議について ・子育て世帯の国保被保険者への支援 ・高齢者の足の確保を ・高齢者の特殊詐欺防止対策を
薄井孝彦 議員	・遊休農地を利用した人口増対策について ・「花とハーブの里 池田町」を目指す取り組みについて ・交流センターの利用料減免措置などについて
大厩美秋 議員	・各地区に設置された遊具施設の取り扱いについて ・池田町社会資本総合整備計画で整備された道路安全対策について
大出美晴 議員	・ふるさと納税制度を利用し財政面に反映する町長の意気込みは ・移住希望者の受け入れを池田町は積極的に進めるのか ・買い物弱者に対する町の考えは
矢口　稔 議員	・長野県も導入している持続可能な開発目標（SDGs エス・ディー・ジーズ）における町の取り組みについて ・池田町の自然保育「やまほいく」の現状と課題、今後の展開について ・子どもたちが安心して遊べる公園遊具の改修計画について ・防犯対策の実態と改良型さすまたの導入について
松野亮子 議員	・池田町の教育施設における除草剤の使用について

農産物加工施設カモミールの取り組みは

那須博天 議員

問 **12月の定例会で、町は農産物加工場を6次産業化の拠点として考えている。6月頃までに方針を出したいと回答した。どの様に進める予定なのか。**

答 営業許可が10月で終了し、施設内の整理及び撤収まで2か月間の時間が必要なため、施設貸借契約を今年の12月までとした。今後次の事業者を9月頃までに公募し、年内に事業者を決定し来年４月から営業できるよう進める。

問 **ハーブセンターを含めた一体感のあるエリアとして進める考えは。**

答 ハーブセンターを含めた一体感のあるエリアとして進めて行く必要があると考える。地域情報の発信、地場産品の販売・飲食の提供等をする中で、訪れた方が池田町の産業や文化に触れられる施設の発信場所として進める。

会染西部地区非農用地の活用は

問 **会染西部地区圃場整備で町の購入予定の非農用地はどの様に進めるのか。**

答 圃場整備事業で確保する創設非農用地の用途は、現在防災機能を併せ持つ多目的広場として計画している。施設と

命を守る防災推進対策の取り組みは

横澤はま 議員

問 **地区防災計画の現状と整備されていない地区への対策は。**

答 自主防災組織の規約やマニュアルの策定をお願いしているが、相談窓口を開設し支援していく。これが済んだ段階で、地区防災計画策定に着手していく。サポートをしていきたい。

問 **災害における地域と学校の連携は。**

答 自主防災会長会議に、主旨説明と規約やマニュアルの確認をし、学校側と顔の見える絆を作っていきたい。

問 **子どもの命を守る防災教育は。**

答 学校や地域で、実体験できる活動の機会を増やすことが重要である。知識だけを学ぶのではなく、自らの体験を通して知恵と自信を蓄えることが、災害時にも落ち着いて行動できる原動力になると考える。

「平和な未来のまちづくり」の取り組みは

問 **第６次総合計画における、「住民主役による協働のまちづくり」として、**

総合教育会議について

服部久子 議員

問 **教育大綱策定に向けた総合教育会議で、町長は道徳教育、家庭教育を強調したが、考えは。**

答 家庭教育は夫婦兄弟が力を合わせ家庭を築き、道徳教育は社会の一員としての自覚と公共心を育む教育である。

問 **教育大綱の考えは。保小中一貫教育について町民への説明は。**

答 ０歳から15歳まで一貫して個性を尊重し自己肯定感を育む教育を目指す。町民との懇談は、５回の町民懇談会と教育に特化した意見交換をする場も設けたい。

子育て世帯の国保料の支援

問 **国民健康保険の均等割りは2万8千円で多子世帯の負担が大きい。第3子以上の減免を。**

答 全国知事会でも国に要望しているが、国の制度として行うべきで、町独自で実施する予定はない。

問 **国保滞納世帯に交付する短期保険証は、ほとんどが1カ月期限である。6か月にできないか。**

しては、一次的な避難スペースや必要箇所からの緊急車両の乗り入れを考慮し、救援等の支援スペースとして活用する広場の確保を行う。

問 **12月から工事が始まる予定であるが購入金額と、予算付けは。**

答 購入予定面積は4万㎡で購入金額は約9千675万円を見込んでいる。予算付けは、換地処分前に行われる換地精算の時点で取得する予定である。事業計画は、令和5年度の予定となっている。

町購入予定の非農用地（内鎌）

研究体制の整備や戦略など、積極的な施策はどのように進めていくのか。

答 「効果的な情報発信」、「丁寧な合意形成活動」、「目的・課題への積極的対応」を進める。各課の審議会・協議会で、課題協議・検討を行う。効果的な情報発信や町政懇談会などを通し、施策に反映していきたい。例として、交流センターでの主体的な運営への参画や自主防災への関心を高める訓練・装備の充実をさらに進める。

池田町食育条例制定の考えは

問 **健康長寿の活力あるまちづくりに、食育条例が必要と思う。町の考えは。**

答 食育推進計画が進められている。新たな条例の制定は今後の課題として考えたい。

6月食育月間バランスよく食べよう

答 滞納者と意思疎通を図るため、あえて1カ月の短期保険証にしている。

高齢者の足の確保を

問 **交通弱者対策が進まない。デマンド交通システムを検討できないか。**

答 町内循回線の利用が増加している。現在の運行形態を継続していく。

高齢者の特殊詐欺防止対策を

問 **高齢者のみの家庭に電話による詐欺が増加している。松本市、伊那市、安曇野市は、電話につながる録音機の無料貸し出しや購入費の補助を実施している。町は実施する考えはないか。**

答 町の特殊詐欺被害は、26年度2件、27年度1件、28年度以降はない。防災行政無線、広報で注意喚起する。

みんなで仲良し

「花とハーブの里づくり」事業の強化を

薄井孝彦　議員

問　花とハーブの里ブランド化推進委員会修景部会を再開し、「花とハーブの里づくり」事業の推進を。

答　なるべく早く推進委員会を開催する。

問　町内の道路沿いにある大型コンクリートプランターに花を植栽するなど、プランターの有効活用に町の支援を。

答　調査・研究し、対応を検討する。

問　池田町ハーブガーデン・ガラス温室は町民が親しめ、楽しめる施設になるよう施策の実施を。

答　皆さんの声を聴き、検討していく。

遊休農地を利用した人口増対策を

問　北アルプス振興局とＪＡ大北は「農ある暮らし」支援事業を開始した。この事業と連携し、遊休農地を県内外の方に紹介し、人口増につながる施策を。

答　遊休農地で農業ができる人は、居住地から車で30分以内、農作業が150日以上できる人と決まっているので、県外の人の遊休農地の利用は難しい。

各地区に設置された遊具の取り扱いについて

大厩美秋　議員

問　使用禁止となっている屋外遊具が多くあるが、現状は。

答　現在、池田町には16か所で48基の遊具があり、毎年、地区を区切って業者による点検を行っている。75％を占める36基が使用禁止となっている。

問　撤去を優先した中で、新設も含めて今後の取り組みは。

答　補正等で対応し1年から2年の中で順次撤去をしていきたい。新設については、調査を行いながら町全体で数か所程度に設置し、集中管理していきたい。

「参考」平成29年度　7基撤去
　　　　平成30年度　23基撤去

交流センター西側交差点安全対策

問　小中学生の登下校時、交流センターの利用者が多くなる。横断する交差点の安全対策は。

答　横断歩道の設置に伴い、「横断歩道あり」標識設置、ガードポスト9か所設置、旧県道線「止まれ」の路面表示をより分かりやすくする対策を行う。

問　中学校校庭の南側道路で、連続したカーブから交差点へ到達するが、減

ふるさと納税制度にかける町長の意気込みは

大出美晴　議員

問　ふるさと納税制度をはじめた当時の意気込みは。

答　当時の目標である5千万円を目指すため、新たにポータルサイトを2社増やした。

問　ふるさと納税制度のこれからの進め方は。

答　決められた条件の中で返礼品の充実を図る。体験型の返礼品の提供についても積極的に検討していく。

問　この制度を活用し町が進めたい事業を前面に出すために、もっとＰＲしては。

答　そのためには、町民が望むこと、事業を必ず実施すること、町外の方が共感すること等が要件となる。慎重に検討していきたい。

移住希望者の受け入れを町は積極的に進めるのか

問　町独自の調査をし、何が出来るのか考えて行くべきでは。

答　ふるさと回帰支援センターの利用者の推移をみると、若年層の移住希望者の増加が顕著で、町もこの動向は把握済

問 遊休農地をデーターとしてまとめ、町のホームページで公開し、人口増につなげる施策を進められないか。

答 実現に向け、研究していきたい。

町民がより使いやすい交流センターに

問 3月議会で問うた町登録団体の交流センター使用料減免措置の検討結果は。

答 町登録団体の使用料減免は9月のセンター開館に向け取り組む。

問 交流センター運営協議会の設置は。

答 新たな協議会は設置せず、既存組織の合同会議などを通じ、センター運営について町民から意見を聴く機会を設ける。

問 旧関邸にあった香川景樹の歌碑は交流センターに設置を。

答 歌碑は交流センター敷地内に設置する。

きれいに咲いた大北法人会池田支部コンクリートプランター花壇（林中工業団地）

速を促す対策は。

答 車線の内側にドットマークの路面表示、「横断歩道あり」の路面表示と標識を、また、ガードレール2か所を設置する。

問 町道251号線の道路工事完了に伴い、交通量が増え信号機設置も考えられるが、対応は。

答 信号機の設置基準があり、現段階での設置は難しい。今後、全線開通した段階で交通の流れも変化していくと思われるので、状況を注視しながら対応していきたい。

工事中の交流センター西側交差点

みである。移住希望者からのアンケートを基に障壁となるものを課題とし、協議会で検討し移住ガイドブックを作成した。この活用もあわせ希望者に寄り添った相談を心がけていく。

買い物弱者に対する町独自の考えは

問 配達の燃料代等の経費を補助するシステムを考えては。

答 昨年度地域支え合い推進員等が、生活実態・ニーズ把握調査を実施した。今年度は、この結果をベースに一人暮らし、高齢者世帯の買い物のための移動支援について優先事項として検討したい。

寄付者に人気のワイン

持続可能な社会への取り組みは

矢口　稔　議員

問　県も導入している持続可能な開発目標「SDGs」について、普遍的な2030年までの世界的な17の目標がある。町の認識と広報・周知は。

答　認知度がまだ低い。第６次総合計画にも共通するものがある。ホームページや広報等で知っていただき、町民一人ひとりが様々な目標に向かって自分から行動を起こすという意識に持っていけたらいい。

池田町を「やまほいくの町」に

問　信州型自然保育「やまほいく」が町の保育園に導入されて、１年半が経った。現状の課題は。

答　慢性的な保育士不足である。屋外での自然保育の安全性を担保する点からも保育士の確保が最重要課題である。

問　当町も「やまほいく」の先進地となり、自治体ネットワークを活用して、取り組みを広く発信したらどうか。

答　視察の申し込みも入っている。積極的に受け入れ、発信も行っていきたい。

問　「やまほいく」を取り入れる認可外保育施設が現在１園ある。利用者へ保育料の軽減措置が県の事業で行われる。

池田町の教育施設における除草剤の使用について

松野亮子　議員

問　日本で一番よく売れている除草剤はグリホサートを主成分にしている物が多い。世界中でその毒性に関する研究が進んでいる。不妊症などの生殖毒性、脳神経系の発達阻害、自閉症などの発達障害の原因になるなどの科学的データが次々と報告されている。特に、2015年に国際がん研究機関がグリホサートを発がん物質に指定してから、グリホサート系除草剤を禁止する国や地方自治体が続出している。池田の教育機関で除草剤が使用されているのかどうか、特に深刻な健康被害を及ぼす可能性のあるグリホサート系除草剤を使用しているのか。

答　グリホサート系除草剤は会染小学校の草刈り機が入らない部分やグラウンドの一部で年２回、子供たちへの影響を最小限に抑える形で、長期の休みの間に散布をした。高瀬中学校でも年に一度、校舎周りのコンクリートのすき間など草刈り機が入りにくい場所に使用した。認定こども園２園では非グリホサート系の粒状の除草剤を使用した。

問　安曇野市と松川村に確認したところ、教育関連施設では除草剤は使用

食育推進特別委員会設置

食育推進特別委員会の設置が決まりました。メンバーは次のとおりです。

委員長　横澤　はま
副委員長　和澤　忠志
委　員　松野　亮子
　　　　大厩　美秋
　　　　中山　眞
　　　　薄井　孝彦

前委員会の素案を基に、「食を通じた健康づくり」、「安心安全な食の環境づくり」を目標とし、池田町の食の活性化につなげたい。

行政と連携しながら任期２年間に条例制定を目指す。

補助率が1／2であるが、町の援助は。

答 財政状況も踏まえ、基本的に応援する方向で検討を進めたい。

「防犯用さすまた」改良型へ更新検討

問 **町内の教育施設に防犯用の「さすまた」が整備されている。現在のものは江戸時代からのままで、相手の背後に壁等がないと確保は難しい。改良型の「さすまた」を訓練とあわせて導入してほしいが。**

答 改良型の「さすまた」を含めた防犯器具等の導入も教育委員会として迅速に検討を進めたい。

「改良型のさすまた」
手錠のように体を挟み、相手を確保する

していない。安曇野市と松川村でできるのであれば、池田でも除草剤不使用にできるはず。予防原則にのっとり、深刻な健康被害が生じる前に、教育関連施設でのグリホサート系除草剤の使用はやめてほしい。

答 グリホサート系除草剤使用2施設に関しては、より人体に与える影響が少ないものを選択するように進めたい。

子どもたちには最高のレベルの安全な環境を提供したい

〈表紙〉町公民館最後の「てるてる坊主童謡まつり」

6月29日、池田町公民館において、第38回を数えるてるてる坊主童謡まつりが開催されました。昭和57年に始まった童謡まつりも、現在の公民館での開催はこれが最後。今年も隣の松川村からの参加者など、16組の爽やかな歌声がホールに響きました。童謡まつりの最後には、公民館に感謝を込めて、みんなで声を合わせて「ありがとう！」の声で締めくくりました。皆さんの歌声が染み付いた公民館、ありがとう、そして、さようなら。

シリーズ

町民の皆さんに聞く

―第 11 回―

なかだいら いくえ
中平 生恵 さん（旧姓杉山）

略歴・活動内容

1979 年　愛知県生まれ（39 歳）
2014 年 12 月から 3 年間、池田町地域おこし協力隊として活動。2018 年から 1 年間、ハーブセンター農場スタッフとして勤務。
2019 年 3 月に男児を出産し、現在は夫と 3 人暮らし。

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

町民の方々と一緒に活動して

私は、愛知県から地域おこし協力隊に着任するために移住してきました。正しく言えば、移住するために地域おこし協力隊という方法を選んだというのが事実です。着任中は、特産品開発担当として、町内の皆様にお世話になりながら、3年間活動させていただきました。その中のひとつに「まかないシェアハーブガーデン」と名付けたハーブガーデンを、町民の方々と一緒に作る活動をしました。現在もこのガーデンは継続しており、活動の主体は後から着任した協力隊に任せ、私は「花とハーブの里サポータークラブ」の一員として関わらせていただいています。私自身は、元々はハーブについての知識をほとんど持っていませんでしたが、池田町に来てハーブがとても身近なものになりました。

また、2018年に町が行った「ハーバルヘルスケアトレーナー育成講座」に参加し、池田町が進めているハーバルヘルスツーリズム事業における「ハーバルヘルスケアトレーナー」の認定を受けることができました。現在は、池田町独自のセラピーを確立すべく、町や仲間と共に内容を研究しているところです。

ハーバルヘルスケアトレーナーとして
ウォーキングツアーをガイド

「ハーブ」という強みを活かして

私が池田町に来た当初に比べ、ハーブに関する事業が増えているように感じます。池田町のような小さな自治体で独自の特色を出すというのは難しいことですが、池田町には他所にはない「ハーブの町」という強みを持っています。今後もハーブの町・池田町として益々盛り上がっていくことを期待しています。

議会最新情報

インターネット中継ハイビジョン化

議会中継の画質が向上しました。従来は標準画質での配信でしたが、機材更新によりハイビジョン画質での配信になりました。過去の議論の様子もご覧いただけます。

池田町議会　検索

YouTube アドレス
https://bit.1y/2xxH8j6

ケーブルテレビでも放送開始

6月定例会からケーブルテレビ「あづみ野テレビ」でも本会議を中継しています。

より見やすくなった議会中継

編集後記

今号から新しい議会構成となりました。議会だよりのメンバーも一新。よりわかりやすく、図やグラフ、写真等を活用して、議会の動きが見えるように努力いたします。ご意見やご要望等何でもお寄せください。町民の皆さんと一緒に創り上げる「議会だより」を目指します。

矢口　稔

議会報編集特別委員会
委員長　矢口　稔
副委員長　中山　眞
委　員　松野　亮子
大出　美晴
服部　久子
那須　博天

次回議会だより発行は 10 月 30 日（水）を予定しています。ぜひ、御覧ください。

◉発行／池田町議会　◉企画・編集／議会報編集特別委員会　●長野県北安曇郡池田町大字池田 3203-6（池田町役場内）
● TEL.0261-62-3131　● FAX.0261-62-9529　● E-mail gikai@town.ikeda.nagano.jp　● http://www.ikedamachi.net/